

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名              |    | 公表日                                                                                                                                                  |    |     |                                                 |                                                                  |
|-------------------|----|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|-----|-------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| 放課後等デイサービス ASWITH |    | R8年 2月 24日                                                                                                                                           |    |     |                                                 |                                                                  |
|                   |    | チェック項目                                                                                                                                               | はい | いいえ | 工夫している点                                         | 課題や改善すべき点                                                        |
| 環境・体制整備           | 1  | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。                                                                                                                         | 2  | 1   | 個別訓練などで使用できる別室がある。                              | 今後も場面に合わせて部屋を使用する。                                               |
|                   | 2  | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。                                                                                                                     | 2  | 1   | 児童の状態によっては大変だと感じる場面もあるが、日や時間に応じて変わるため難しい。       | 人員配置に関しては改善が必要であるため、職員の出動を調整するなどして対応する。                          |
|                   | 3  | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。                                                                | 3  |     | 給湯器の設置、トイレの数を増やす、おむつ交換専用の場を設ける。                 | 給湯器、トイレに関しては賃貸物件であるため工事が困難な点がある。おむつ交換に関してはパーテーションを用いて視界をさえぎっている。 |
|                   | 4  | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。                                                                                                | 3  |     | 同上。                                             | 日々業務後の清掃などを行う、来所30分前にエアコンを起動し室温の調整を行うなどしている。                     |
|                   | 5  | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。                                                                                                           | 3  |     | 別フロアを使用可能。                                      | 児童の状態や活動内容に応じて別室を使用することができる。                                     |
| 業務改善              | 6  | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。                                                                                                       | 3  |     | 職員会議や朝礼など職員間で意見交換の場を設けている。                      | 定期的に機会を設け必要に応じて今後も実施する。                                          |
|                   | 7  | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                 | 2  | 1   | 評価表を実施し、結果を公表している。                              | 内容に関して周知を行い、職員間で対応を検討している。                                       |
|                   | 8  | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。                                                                                                               | 3  |     | 職員会議や朝礼の時間に意見交換の場を設けている。                        | 今後も継続して職員間での意見交換の場を設ける。                                          |
|                   | 9  | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。                                                                                                                     | 1  | 2   | 実施しているかもしれないが分からない。                             | 監査の結果を反映し業務改善に務めている。                                             |
|                   | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。                                                                                                     | 3  |     | リタリコを用いた研修を行っている。                               | 今後も継続して事業所内での研修を勧めつつ、事業所外での研修にも参加を検討する。                          |
| 適切な支援の提供          | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。                                                                                                                              | 2  | 1   | リタリコなどを用いて行っている。                                | 今後も継続して事業所内での活動に関する発信を行う。                                        |
|                   | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。                                                                               | 3  |     | 計画案を回覧している。                                     | 半年置きに作成を行い、都度読み上げて説明を行い、疑問点などないか確認している。                          |
|                   | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。                                                                 | 3  |     | 同上。                                             | 職員間で普段の様子などを話し合い、作成している。                                         |
|                   | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。                                                                                                              | 3  |     | 同上。                                             | 計画作成時は回覧を行い、周知している。                                              |
|                   | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。                                                                  | 2  | 1   | その日に支援経過に記入を行い記録を残している。                         | 今後も日々詳細に記録を残しつつも振り返り体制を整える。                                      |
|                   | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3  |     | 5領域をもとに支援内容を決定し、定期的にモニタリングを行うことで、支援の妥当性を評価している。 | 今後も継続してモニタリングを行い、支援の質を高める。                                       |
|                   | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。                                                                                                                               | 3  |     | 現場にいる職員で話し合い当日の詳細な予定を立てている。                     | 今後も児童の様子に合わせた活動を提供する。                                            |
|                   | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。                                                                                                                             | 3  |     | 活動内容に関しては月案を作成している。                             | 天候や児童の様子によって活動が難しい場面もあるため、都度検討を行い変更することもある。                      |

|              |    |                                                                                    |   |   |                                                             |                                             |
|--------------|----|------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 関係機関や保護者との連携 | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。                           | 3 |   | 毎日集団活動は取り入れており、適宜個別訓練を行っている。                                | 今後も児童の様子に合わせて集団と個別を切り替えて実施する。               |
|              | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。                    | 2 | 1 | 支援や活動の際には職員間である程度の役割分担を行い、不足があればフォローするなど現場に合わせて臨機応変に対応している。 | 今後も継続して支援を行う。                               |
|              | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。                             | 1 | 2 | 必要に応じて会議の時間を設けている。職員間で疑問に思った点に関しては翌日の朝礼にて振り返っている。           | 終了直後に時間を設けることは難しいため、情報共有を継続し、翌日に話し合っている。    |
|              | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。                                             | 3 |   | 支援記録を記入している。                                                | その日の記録はその日に詳細に記入するよう徹底している。                 |
|              | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。                              | 3 |   | モニタリング時は職員間で児童の様子を確認し、計画書などの見直しを行っている。                      | 今後も必要な場面では職員間で情報共有を行っている。                   |
|              | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。                                       | 2 | 1 | 戸外活動にて施設・公園を利用し、地域交流の機会を提供している。                             | 今後も継続して行う。                                  |
|              | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。                               | 2 | 1 | 活動の際、選択肢を提示する、時間配分を任せるなどする場合がある。                            | 今後も適度に選択する余地を提示する。                          |
|              | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。                           | 3 |   | 日頃の様子を詳細に記録し、会議などの場面では記録を確認したのち参加するようにしている。                 | 今後も継続して実施する。                                |
|              | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。                         | 3 |   | 隣接している保育園と連携している。                                           | 今後も必要な場面があれば連携を行う。                          |
|              | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。            | 2 | 1 | 現在平日利用の放デイ利用児がいない。                                          | 現在は利用している児童がいないが、必要に応じて話し合いの場に行くなどしている。     |
|              | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。                           | 3 |   | 移行や就学の際には保護者の同意を得たのち情報提供を行っている。                             | 今後も継続して行う。                                  |
|              | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。                   | 2 | 1 | 現在こういった事例は当施設ではない。                                          | 今後必要になった場合は情報提供などの連携は惜しまず行う。                |
|              | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスノーパイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。                             |   | 3 | 現在保護者の方から連携したいという意向がない。                                     | 必要になった際はこちらからの提案を行い、連携の際は情報提供を行う。           |
|              | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。                                             | 1 | 2 | 公園などの公共施設で一緒に遊ぶなどの状況の際係ることはある。                              | 交流の場が持てる場面では必要に応じて職員が支援する。                  |
|              | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。                                                            |   | 3 | 現在は参加できていない。                                                | 今後必要に応じて検討を行う。                              |
|              | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。                                   | 3 |   | 連絡帳を記入している。                                                 | 連絡帳にてその日の出来事を伝えており、変化があった際はLINEなどで連絡を取っている。 |
|              | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。       |   | 3 | 研修などは現在行っていない。                                              | 今後保護者同士の交流が持てる場を企画中。                        |
|              | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。                                               | 3 |   | 入所の際に左記については読み上げを行うなどし、誤解の内容に説明を行っている。                      | 今後も丁寧な説明を行い、安心して来所していただける様留意する。             |
|              | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 3 |   | 担当者会議を行っている。                                                | 担当者会議や面談を通して保護者の意向の確認を行っている。                |
|              | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。                         | 3 |   | 計画作成時は可能な限り対面にて説明を行い、疑問点などないか確認して同意を得ている。                   | 今後も継続する。                                    |
|              | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。                                      | 3 |   | 必要に応じて保護者面談を行っている。                                          | 面談ではどう変化したかや、自宅での困りごとに関してなどの相談に応じている。       |

|         |    |                                                                                            |   |   |                                                                                   |                                                 |
|---------|----|--------------------------------------------------------------------------------------------|---|---|-----------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|
|         | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 |   | 3 | 現在父母の会は行っていない。                                                                    | 現在企画を行っており、参加を募っている。                            |
|         | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。                       | 3 |   | 苦情などが発生した際は窓口を設けており、対応について職員間で検討し、回答している。                                         | 今後もこういった事例では丁寧な対応を行う。                           |
|         | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。                   | 3 |   | ブログやLINEなどの更新を行っており、毎月お便りを発行している。                                                 | 今後も継続して発信を行う。                                   |
|         | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。                                                                        | 3 |   | 個人情報に関しては鍵のかかる棚に保管してあり、安易な持ち出しはできないように環境を整えている。                                   | 今後も個人情報の取扱いに関しては十分に留意する。                        |
|         | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。                                                      | 2 | 1 | 可能な限り丁寧に伝達を行っており、文面で残るようにしている。                                                    | 今後も現在の体制を維持する。                                  |
|         | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。                                                      | 1 | 2 | 地域住民の招待は行っていないが、行事に関しては可能なものであると判断できた場合は参加している。                                   | 今後も参加できる行事があれば積極的に参加したい。                        |
|         | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。            | 3 |   | いずれのマニュアルも作成しており、定期的に訓練を行っている。                                                    | 不測の事態が起きても即応できるよう今後も継続して訓練を行う。                  |
|         | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。                                  | 3 |   | BCPは策定済み。災害の備えに関しては非常用バッグを玄関付近に設置しておりすぐに持ち出せるようにしている。                             | 今後も継続して訓練を通して職員、児童共に防災意識を高める。                   |
|         | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。                                                        | 3 |   | 入所の際にてんかんなどの持病に関しては聞き取りを行っており、対応策については職員周知を行っている。                                 | 今後も児童の様子に気を配り、変化があれば保護者へ連絡を行う。                  |
|         | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。                                                     | 3 |   | 指示書はないが、家族より入所の際に説明を受けている。                                                        | 入所の際に保護者へ聞き取りを行い、アレルギー物質の除去を行っている。              |
| 非常時等の対応 | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。                               | 3 |   | マニュアルの策定を行い、周知している。                                                               | マニュアルを策定した上で定期的に訓練を行い、実際の場面で慌てず対処できるよう対策している。   |
|         | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。                                  | 3 |   | 子供の安全に関しては職員間で頻繁に協議しており、児童に合わせて対応策を模索し実施している。                                     | 今後も継続して安全には十分に配慮し、児童を受け入れる。                     |
|         | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。                                                    | 3 |   | 回覧を行っている。                                                                         | ヒヤリハット発生後、報告書の回覧を行い、職員会議などで対策の検討を行っている。         |
|         | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。                                                       | 3 |   | 研修に関しては定期的に実施しており、虐待に当たる事例の確認や周知を行っている。                                           | 今後も定期的に研修を行い、職員間で支援内容が虐待に当たらないか、適切であるかの確認を行う。   |
|         | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。           | 3 |   | 入所の際に身体拘束については説明を行っており、同意を得ている。実際に必要があった際は整備を行うが、必要に迫られた場合は誠実に保護者へ経緯を含めて報告を行っている。 | 今後も可能な限り身体拘束を行わないよう環境を整備を行うが、必要に迫られた場合は誠実に対応する。 |